



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第381号
(創刊 1988.12.14)
2021.06.06.

オオタカが怒っている！

釜利谷の横環南道路予定地近くにオオタカの雛3羽が昨年の夏に生まれました。ところが事業者は、我々連協を含む30年以上にわたる反対運動に押され、当初の計画にはなかった排気ガス全体量の4割をオオタカが住む釜利谷の谷あいからその森に何の処理もせず放出すると宣言したのです。

オオタカからは、「話が違うじゃないか、この自然環境を守るから道路計画を認めてくれと言ったからここに住み続けているんだ。どうしてくれる！」との声が聞こえてきます。

今年も連協の会長を仰せつかった者として、私たち人間中心の要求から結果として排ガスを釜利谷に放出することになった責任を痛感しています。SDGsという環境の維持とは全ての生き物に対するものでありこれも持続可能でなければなりません。

人間は事業者に対して連協を通して物が言えるし言い続けます。しかしオオタカは同じ生き物として事業者には物が言えません。自然界の代表としてわれわれ人間がこの環境を守るべきなのです。連協はこの大切な環境を守り続けます。

これからの工事中で誰もが気が付いた問題点は事業者(場合によっては聞く耳を持たない)に直接言いにくくても生活の基盤となっている自分たちの自治会、町会には誰もが言えます。そしてそこで事業者とどんな問題でも処理する安心できる仕組みを築きたいと思います。

これを以って今年度の会長就任の挨拶と致します。皆さまのご指導を頂きながら事業者に対して声を上げ続けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

(会長 比留間 哲生)

2021年度(令和3年)連協役員

[任期6月1日より1年間]

尚、会計監査人は前期中途中で交替済み、柴田顧問は前期で退任、他は変更なし

役員名	氏名
会長	比留間 哲生
副会長	高村 信夫
副会長	田中 克己
副会長	大橋 宏
環境部長	鈴木 伸之
環境副部長	高村 鈴子
環境副部長	横地 美農里
事務局長	長谷川 誠二
ニュース編集局長	和田 雄偉
HP担当	本田 瑛美
会計	関口 豊子
会計監査	藤原 典子
顧問	青木 達喜

対外活動報告

05/14&18 区政推進課 打合せ

05/25 公共事業改革市民会議として立憲民主党への要請行動(衆院第一議員会館会議室) 会長参加



05/28 道路全国連事務局長を横環南写真撮影案内

06/02 東京外環道事業取消訴訟第11回
口頭弁論、及び第2回事業施行期間延長差止訴訟(事業取消訴訟に変更)第2回口頭弁論を同時開催(東京地裁)&報告集会(衆院議員会館会議室) 会長参加

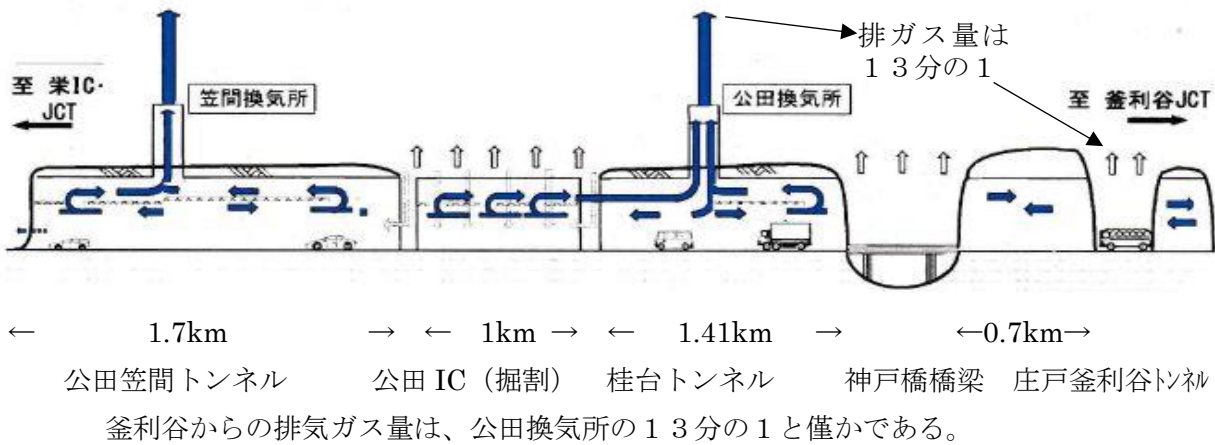
釜利谷に環境アセスと排ガス対策を！

横環南線の様な大規模開発にあたっては環境影響評価を行って、自然環境や住環境に大きな影響がない事を確認してからでないと事業を始める事が出来ない。実際、横環南線では大規模に行われ分厚い環境影響評価書が作成された。約10cmの厚さのファイル2冊の大作だ。

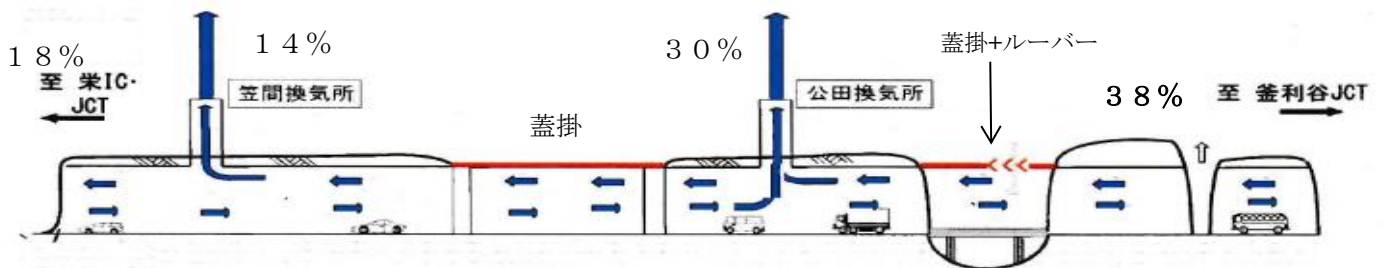


しかし、事業の進行と共に自然環境や交通量の変化、技術の進歩などにより状況は変わる。2004年、小泉総理大臣は国会で、連協提出の質問主意書に対して、答弁書で、「再評価を実施するにあたり、最新のデータ及び予測手法を用いて環境影響の照査を行う」と明言した。確かに、その後数年置きに”照査書”が発行され一応の環境影響評価が行われて来た。しかし、下記の様な大規模な換気計画の変更にも拘わらず、従来通りの予測地点しか評価していない。しかも、裏付けとなる排気風量などのデータの開示もなく説得力に欠ける。釜利谷開口部から全体の38%の排気ガスが排出されるのに釜利谷周辺のNOXやSPM、騒音・振動などの評価が全く行われていない。全く説明責任が果たされていない。

当初の換気計画 (トンネル内の排気ガスは換気所から大気放出、庄戸トンネルは出入口から)



最新の換気計画 (トンネル途中の換気所とトンネル出入口から排気ガスを放出、%は放出割合)



笠間から釜利谷まで、ほとんど1本のトンネルになった。全長約5kmのトンネル全体の38%の排気ガスが釜利谷から放出される。しっかり環境アセスを行い、蓋掛けなどの対策が必要だ。(3丁目: 田中克己)